

月刊 岩田会計 第25号

平成21年3月1日
税理士 岩田英人

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今月は確定申告一色の事務所体制ですが目の前のことだけに忙殺されず、必要な業務はしっかりと対応していきたいと思っています。

まずは健康が大切です。体調を崩さないように気をつけていきましょう。



【平成21年3月号】 派遣切りの是非

未曾有の金融恐慌に直面し、大手企業は非正規社員を削減する方針をどんどん打ち出しています。これに対し連日のようにマスコミ各社はテレビやラジオ、雑誌などで派遣切りは悪だと言わんばかりです。そしてこれまでの内部留保を吐き出していけば大丈夫だと言う意見もあります。これは会計的に言えば少し誤っています。内部留保というのは簡単に言うと過去に蓄積された利益のことです。この利益は設備投資や借金返済に充てられたりして実際にはキャッシュとして残っているわけではありません。企業にとって人は宝です。これはまぎれもなく事実です。大手企業はもちろんそんなことは百も承知です。ですからやるべき手をすべて打ち万策尽きはてたという段になって最後の手段として人材には手をつけるべきだと個人的には考えます。企業の経営努力がどこまでなされているのかを冷静に判断し真実を理解することが必要ではないでしょうか？我々中小零細企業の経営者も資金繰りに追われて苦しい状況に追い込まれているとは思いますが、明けない夜はありません。そのときのために今やれる

岩田会計事務所は経営理念策定・経営計画策定・経営計画遂行支援に力を入れて取り組んでおります。お気軽に声をかけてご相談ください。

ことに精一杯取り組んで雇用の維持と利益確保に努めましょう。こういう時代だからこそ何のために経営をするのかを明確にして全社一丸となって社会に目を向けた理念継承を実践していきましょう。

岩田会計事務所は経営理念策定・経営計画策定・経営計画遂行支援に力を入れて取り組んでおります。お気軽に声をかけてご相談ください。